

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	35,500,000	35,530,750	-30,750	34,994,375	
	自主事業収入	7,500,000	6,977,796	522,204	7,013,245	
	物品販売収入	500,000	349,732	150,268	409,963	
	指定管理料	72,000,000	72,000,000	0	72,000,000	
	その他収入	3,200,000	5,405,083	-2,205,083	6,384,641	
	収入総額	118,700,000	120,263,361	-1,563,361	120,802,224	
支出	人件費	37,200,000	37,833,787	-633,787	36,974,136	
	事務費	2,200,000	2,076,768	123,232	2,544,713	
	管理費	42,500,000	43,900,305	-1,400,305	42,270,603	
	自主事業経費	6,475,000	5,804,682	670,318	5,651,312	
	光熱水費	20,000,000	18,171,302	1,828,698	20,151,889	
	リース料	600,000	531,564	68,436	554,004	
	その他	8,225,000	11,829,120	-3,604,120	11,770,571	
	支出総額	117,200,000	120,147,528	-2,947,528	119,917,228	
収支差額	1,500,000	115,833	1,384,167	884,996		

3. 総合評価

自己評価
<p>令和5年度においては、コロナも収まりつつある中、逆にインフルエンザ等が流行し、引き続きアルコール消毒液や空気清浄機、サーキュレーターを各施設、各必要な場所に設置し、感染症拡大防止に努めました。また、スタッフによる日々の除菌作業、屋内施設利用者の人数制限など、ご利用者の方々に安全・安心に施設をご利用いただけるよう徹しました。1年を通して、特に、体育館の個人利用では、トレーニング室は徐々にコロナ前に戻りつつあり、パワー系のトレーナーを採用した効果もあり、夜の若者が増えてきました。その反面、卓球室利用者はほぼメンバーが変わらず、ご高齢の方が中心であり、新しいメンバーが増えず、自然減の状態になりつつあります。また、支出の面に関しては、令和4年度から続く、物価高騰への影響、人件費の増額、光熱水費の高騰など収益を大きく圧迫し、大変厳しい1年となりました。利用サービスの一環としては、引き続き体育館にデジタルサイネージを設置することにより、本日の利用団体やスクール案内など、日々ご利用者の方々に最新の情報発信を行いました。また、体育館設置の券売機には、QRコードによるキャッシュレス化の機能を追加していますが、日々ご利用の方も増えてきており、ご利用者の方からも大変便利になったとお声をいただいております。その他、自分の身体を知る上で、常時インボディー体組成計を設置し、健康に対する意識を高めていただきました。また、スポーツ推進委員さまとも連携し、体力測定会に貸し出しをおこなうなど、体力づくりの促進に貢献し、市民の皆様大変喜んでいただきました。屋外施設の維持管理面では、営繕スタッフが、年間100件以上の補修・修理、グラウンド整備・整頓、木々の伐採・剪定・処理等を行いました。特に、市からご連絡いただいた案件や、利用者の方々からいただいたクレーム・要望等は速やかに対応しております。特に、今年度は寺ヶ池庭球場利用者の念願であった男子更衣室を改修いたしました。紆余曲折ありましたが、ご利用者には喜んでいただきました。ただ、全体的に施設が老朽化しており、修繕だけでは対応しきれないケースもでてきており、今後大きな懸念材料です。今後も引き続き、市民の皆様安全・安心を最優先し、市民の皆様から喜んでいただける施設を目指してまいります。</p>
市評価
<p>令和5年度は、河内長野SSKクリーン工房共同事業体による指定管理業務が2期目2年目(計7年目)の年でした。前年度に引き続いて、午後9時までの窓口受付の対応を行っていただき、パワー系のトレーニング専任スタッフの採用、インボディー体組成計の常時設置、健康意識向上のための自主事業の継続実施等、市内スポーツ施設のイメージアップ及び新規利用者の増加につながる取り組みを数多く実施いただき、大きく評価しています。特に新型コロナウイルス感染症防止対策のノウハウを活かして、インフルエンザ感染対策にも努めていただき、コロナが第5類に移行した後も、利用者が安心して施設を利用できるよう、引き続き、適切な施設の管理運営に努めてくれたと考えています。また、利用サービスの一環として、引き続き体育館にデジタルサイネージを設置していただき、イベント案内など、日々利用者の方々に最新の情報発信を行っていただきました。あわせて、体育館設置の券売機には、QRコードによるキャッシュレス化の機能を追加することで、利用者のさらなる利便性向上に努めてくれました。日常の修繕や管理においても、老朽化した施設の維持管理が難しい状況の中、営繕担当スタッフを中心に、利用者目線で、迅速かつ丁寧に対応していたと認識しています。特に、長年の課題であった寺ヶ池公園庭球場の更衣室修繕業務は、真摯に対応していただき、所管課として深く感謝しております。今後も、施設の管理運営においては、市と随時、情報共有を図りながら、民間企業の特徴を活かしたスポーツ施設の効率的な管理運営を行ってもらうことを期待します。</p>